

(様式3)

事業所名 グループホーム どっこんの家

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 3 月 5 日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	・理念の共有と実践 利用者支援の共通の方向性を指すという点で職員間で再度確認が必要な面が出てきている	理念の見直しと再検討を実施する。新しい理念の作成を行う	定期会議を活用し、理念の見直しを行う。新しい理念について話し合う機会を設ける。	12ヶ月
2	6	・身体拘束をしないケアの実践 内部の研修会等を行われていない	事業所内での研修を企画するなどして身体拘束をしないケアについて全職員で考える機会を持つことを望みたい身体拘束に関する定期的な振り返り、研修を実施する	定期会議での振り返り(年3回程度)内部研修(年1回程度)の実施。身体拘束に関する外部研修の積極的な参加。	12ヶ月
3	7	・虐待の防止の徹底 職員全体で高齢者虐待防止についての考える場が設けられていない	外部研修への参加や内部研修を定期的に行う。全職員の虐待防止への意識を高め、さらに虐待防止の徹底を図る取り組みを実施する	定期会議での振り返り(年3回程度)内部研修(年1回程度)の実施。虐待防止に関する外部研修の積極的な参加。	12ヶ月
4	36	・一人ひとりの尊重とプライバシーの保護 基本的な対応や支援方針にずれが生じないように十分な話し合いは行われていない。共通認識のもとでケアに当たることが必要。	事業所内での研修を企画するなどしてプライバシー保護について全職員で考える機会を持つ、プライバシー保護に関する定期的な振り返り、研修を実施する	定期会議での振り返り(年3回程度)内部研修(年1回程度)の実施。虐待防止に関する外部研修の積極的な参加。	12ヶ月
5	34	・急変や事故発生時の備え 実践的な研修の積み重ねが十分とは言えない	職員の意見を取り入れ実践的な研修を実施する	委員会での検討を行う	12ヶ月

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	35	・災害対策 近隣住民の参加や地区消防団などとの連携が十分にはとれていない	地元消防団との休力体制の構築や近隣住民との連携を視野にいれた取り組みを実施する	防災訓練への参加呼びかけ、施設見学などを兼ねた災害対策企画の考案	12ヶ月
7	4	・運営推進会議を活かした取り組み 外部評価を活用した取り組みが十分とは言えない	外部評価の事前説明、結果報告、意見の聴取を取り入れた会議の開催を実施する	定期運営推進会議(年6回)で外部評価の指摘事項などを活かした取り組みを実施する	12ヶ月
8	52	・居心地の良い共用空間づくり 専用の物干し場の確保が必要。非常口の施錠、開錠の状況確認が必要	物干し場の工夫。施錠の状態確認	避難経路の点検。施錠状態項目の追加	1ヶ月